

事業名	安全対策指導費	財務コード (事業)	102202
-----	---------	---------------	--------

細事業名	南アルプス山岳安全推進事業費補助金
------	-------------------

担当部課室	観光 部 観光資源 課 資源管理 担当 (内線)	4303
-------	--------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 H19 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(南アルプス市)		
事業の目的	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	北岳登山者	病気や怪我に対する安全が確保されている。	登山者の安全の確保
事業の内容 主に 24年度	事業概要: 夏山登山の最盛期、県営北岳山荘に診療所を開設し、登山者の健康管理と応急救護活動を行う事業に対し助成する。 補助先: 南アルプス市 補助率: 1/2(500千円を上限)		
根拠法令等	南アルプス山岳安全推進事業費補助金交付要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標	診療所の開設期間 7月14日~8月19日、9月15日~21日 (44日間)	夏山登山の最盛期、北岳山荘に診療所を開設	7月11日~8月18日、9月15日~17日 (42日間)	夏山登山の最盛期、北岳山荘に診療所を開設	夏山登山の最盛期、北岳山荘に診療所を開設	活動指標 目標設定の考え方 夏山登山の最盛期の診療所開設を活動指標とした。 データの出典等 実績報告書
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		%			
成果指標						成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	成果指標達成率 (実績値/目標値)		%			
決算額、予算額 (千円) うち一財額	500 500		500 500	500 500	500 500	成果指標によらない成果 診療所を訪れる登山者(H23:180名、H24:272名)へ適切な処置が行われているため、登山者の安心に寄与しており、登山を行う際のサポートとなっている。
所要時間(直接分)	72 時間		72 時間	72 時間	72 時間	
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間	
所要時間計	72 時間		72 時間	72 時間	72 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,050円×所要時間)	148		148	148	148	

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定 H24年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること 夏山登山の最盛期、北岳山荘に診療所を開設しており、予定通りの活動量をあげている。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定 H24年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記入すること 診療所を訪れる登山者(H23:180名 H24:272名)へ適切な処置が行われているため、登山者の安心に寄与しており、登山を行う際のサポートとなっている。よって、意図した成果はほぼ上げている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
無		

・「以外の判断項目」の欄
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担
(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
現行どおり	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。